

社団法人 日本図書館協会
理事・事務局次長
常世田 良
とよだ りょう



豊島区立中央図書館報

と し ょ か ん つ う し ん
図書館通信

第10号/隔月刊
2009

トピックス

- 巻頭言「情報政策としての図書館の役割」常世田良・・・1ページ
- 新航路「豊島区図書館経営協議会発足」・・・1ページ
- 生涯の「冊」それが、もう君はいないのか」中村文一・・・2ページ
- 区内6大学図書館の紹介「学習院大学」・・・3ページ
- お店探訪「豊島区伝統工芸」・・・3ページ
- 2月15日特別講演会のお知らせ「明治女学校百年」・・・4ページ

「情報政策としての図書館の役割」

昨年、サブプライムローンの破綻を発端に金融問題が発生し、景気回復の兆しが一転して、年末だじうの職を失う方も少なくありませんでした。知合いのある会社経営者は、年以前からの事態を予測して私にも説明をしてくれていました。つまり正確な情報と適切な分析力をもてれば、危険を回避できるという好例です。しかし問題は、現在のわが国では、このような重要な情報が市民に共有されていないという事実です。たとえば「振り込め詐欺」についても、

昨年は、これまで最大被害金額であったのに、私たちの手元には具体的な情報は届いてませんでした。だからこそ最大の被害が発生したのです。情報が溢れているように感じられますが、実は生命、財産に影響するような重要な情報は市民に届いていません。このままだと「自己判断自己責任」型の社会へ突入してしまつて、我々の生活の安全は保障されるのでしょうか。

昨年11月、中央図書館のある「あうるすぽっと」と「自由学園明日館」において「時代を変える 図書館サミット」が開催されました。国立国会図書館長の長尾真氏、作家の阿刀田高氏をはじめとして、市民、書店経営者、出版流通関係者、学識経験者、教育関係者、行政関係者、図書館関係者など多数の論者が集い、活字離れの解消、図書館を有効活用した地域社会の再生などについて活発な議論が行われました。区長がリーダーシップをとって開催されたのですが、自治体で図書館をテーマとした、このようなシンポジウムを開催することは極めて稀なことです。その議論の中で、市民の生活、健康、仕事などを守るために高度な情報サービスを行うべきだというやりとりがあり

ました。欧米の図書館では当り前のサービスですが、我が国ではまだ一部の図書館において実施されているに過ぎません。今年はこのような図書館が増えて、正しい判断するための情報が提供されることにより、すこしでも市民の生活が守られることを期待したいと思います。

新航路[9]

豊島区図書館経営協議会が発足しました

図書館通信第7号でも触れましたが、12月1日、豊島区図書館経営協議会規則が施行になり、正式に豊島区図書館経営協議会が発足しました。そして、12月10日、第1回目の会議が開催されました。当日は、区長から委員に対し委嘱状を交付し、その後、区長あいさつ、豊島区参与（図書館行政政策顧問）あいさつ、委員の自己紹介と続きました。その後、会長、副会長が選出され、

会長には糸賀委員、副会長には松木委員が就任いたしました。今回は、豊島区図書館経営協議会の概要をお知らせいたします。

豊島区図書館経営協議会の概要

- 1 設置目的
豊島区の図書館行政における区民の参画を推進し、透明性を確保するとともに、図書館サービスの向上を図るため。
- 2 所掌事項
豊島区立図書館の経営評価その他の図書館政策について、意見を述べ、又は提言を行う。豊島区立中央図書館長、協議会の意見又は提言を尊重し、図書館経営及び運営に反映させるよう努める。
- 3 組織
第1期の委員は、以下の12名です。

(1) 学識経験者	2名
(2) 教育委員会委員	1名
(3) 豊島区立小中学校長	2名
(4) としま図書館ネットワーク代表者	2名
(5) 図書館利用者代表（区民）	2名
(6) 図書館ボランティア代表者	1名
(7) 豊島区参与（図書館行政政策顧問）	1名
(8) 図書館課職員（区立中央図書館長）	1名
- 4 任期

原則2年。ただし、第1期の委員の任期は、約2年4か月です。

5 会議の公開

原則公開です。議事録は行政情報コーナーや区のホームページで公開する予定です。ただし、議事内容によっては、委員の議決で非公開となる場合があります。

第1回会議内容について

今回は、委員同士の初の顔合わせでもあり、具体的な審議の時間はそれほど長くはありませんでしたが、それでも委員の皆様からは活発な意見が出され、事務局として大変心強く感じました。今後、年間4回のペースで開催され、協議会の意見が豊島区の図書館行政に反映されていくことで、より開かれた図書館経営が実現していくことでしょう。次回は、2月中旬～3月中旬に開催される予定です。なお、今回の報告事項、協議事項は以下のとおりです。協議事項については、次回から実質的な議論に入っていきます。

- (1) 報告事項
 - ①図書館運営専門員の設置
 - ②図書館サミット実施結果
 - ③としま図書館ネットワークの設置
 - ④貸出停止開始日の変更等
 - ⑤館内閲覧調査結果
- (2) 協議事項
 - ①閲覧席への利用時間制限の導入
 - ②平成21年度新規・拡充事業提案書概要
 - ③Web図書館について
 - ④学校図書データベース構築について
 - ⑤利用者満足度調査について



Current & Encounter

「洒落た書物」

豊島区図書館行政政策顧問
粕谷 一希

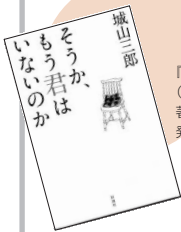
野中邦子さんの訳書『図書館愛書家の楽園』（アハルト・マングレル著）が白水社から十月に刊行された。著者はアルゼンチン生まれ、各地を放浪したのち、カナダに20年住み、現在はフランス在住、エッセイ、戯曲、ラジオ、ドラマなども手がける才人らしい。かつて、清水徹も『書物について』その形而下と形而上学』（岩波書店、二〇〇一年）という書物を書いて、「オヤ」と思わせたが、マングレルの著書はそれ以上に凝っている。活字などをめぐって騒々しい議論が続いているとき、こうした落ち着いた発想の書物が静かに刊行されることは、それ自体、主張をもっており、図書館としてもありがたいことである。

神話としての図書館に始まり、秩序、空間、権力、影、形体、偶然、仕事場、心のあり方、孤島、空想……およそ想像しうる図書館の様相をさまざまな角度から描いてみせる。

まさに、図書館は人々にさまざまな知的快楽を与える楽園である。また人類が図書館に捧げてきた多様な情熱は、それ自体、多くの物語を生んだ。われわれの図書館もまた、小さな、ささやかな図書館だが、書物の出会いを通して、人間という存在が、如何に多様でずばらしいものであるかを実感する場所であると思う。書物に、われわれの友人、時間と空間を越えた知己であると思う。われわれは家族や学校の友達、会社の同僚といった人間関係を越え、地球の裏側であれ、数百年前の異民族であれ、同じ人間性を生きた同胞として実感できるのだ。

図書館は単なる蔵書の空間ではない。未知な書物との偶然の出会いが、自分を変え、世界の見方を変え、そして運命を変えて行くのだ。そのドラマを信ずる者達こそ、読書人であり、ライブラリアンと名乗ることができるといってよいだろう。

生涯の一冊 (9)



『そうか、もう君はいないのか』
(平成20年)
著者 城山三郎
発行 (株) 新潮社



豊島区町会連合会会長
中村 丈一

創立から50周年を迎えた豊島区町会連合会の会長。永年、地域に尽くした功績で、総務大臣、都知事の表彰があり、平成17年11月瑞宝双光章の叙勲には夫人と共に参列された。

「救いを求める思ひ」とは、あとい年で金婚式を迎える、という妻を私は平成20年5月に失った。胆嚢癌と宣告されてから約半月半ばの生命だった。その2か月半という日々は何だつたのだろう、と今でも思う。「覚悟」を固めなければならぬ時間だと、だれが思い切れるのだろう。日々に深まる絶望と向き合わねばならない悲痛は、ことばで言い表せるものではない。妻が逝って、それは身体的な苦痛でさえあることを実感した。私は何をどうすればいいのか、ぼう然とするばかりだった。こんな大変なときに、扶けてくれる妻はいないのだ。なぜいないのか、自分に説明し納得できるものが全くなかった。この混迷の思ひの中で手にとつたのが、城山三郎の『そうか、もう君はいないのか』だった。同じように癌で夫人を失った著者が、夫人の死

を自分はどう納得させたか、私は救いを求める気持ちでこの本をむさぼり読んだ。妻の死、という事実は、遺された夫にとって受け入れ難い不条理である。ふとふり返ると、そこにいるはずの妻がいない。それに気づいて、「そうか、もう君はいないのか」と呟りかざるをえない悲痛は、著者のものでもあり、同時に私のものでもあった。「いない」とことを確かめるその空虚感に埋めきれないものがあった。著者と私と、同じところを共有したような気がした。亡き妻は読書を好み、晩年は「源氏物語」を読み出していた。一冊の本に救いを求める私を見たら何と言おうだろう。生前の、一人さまに尽くす今の仕事をやめては絶対にいけません」と言っていた妻の言葉は、遺言のように胸にこたえている。だが、その仕事を語りかける妻は、どこにも「いない」のだ。

上池袋図書館が薦める本 「素敵な恋がしたいときに読む本」



書名 『君に書かすにはいられない』
ひとりの女性に届いた
四〇〇通の恋文
著者名 中丸 美繪
出版社 白水社
所蔵館 中央・上池袋

「美しい少女に一目惚れした青年は400通の恋文を書いた」これは実在した物語です。青年は、戦前の元日本代表サッカー選手、実業家の故篠島秀雄氏。少女は後に妻となる春枝氏。ただひとりのかけがえのない人にむけて、純粋に、真摯に自らの胸の内を書いていきます。「愛し、愛され、これほど幸福なことが世にあらうか」彼の言葉が実感できるのではないのでしょうか。



児童向け

書名 『トメック』
サカサマ川の水1
著者名 ジャン=クロード・ムルルヴァ/作
堀内 紅子/訳
平澤 朋子/画
出版社 福音館書店
所蔵館 中央・駒込・上池袋・目白

村のはずれのよるすやで働くトメックのもとに、ある日、不死の水を探しているという少女がやってきました。一目で恋したトメックは少女を追いかけ、自分も旅に出たのです。
トメックを待ち受けていたのは・・・
少女が主人公の『ハンナ』も読んでみてください。

『いにしえからのラブレター』 せつなくて

著者名 ryo (りょう)
出版社 ヴィレッジブックス
所蔵館 上池袋
※本書は絶版となっています。



「古今和歌集」「新古今和歌集」の中から選ばれた恋の歌。五・七・五・七・七、三十一文字に想いをこめて詠んだ歌と今の言葉にアレンジした訳、そして英語訳。よく理解できなかった歌も身近に感じることでしょう。千年の時を越えて、いにしえの人々と恋心をわかちあいませんか。

ポランティア紹介の誤記載について (お詫び)

『図書館通信』第9号「ボランティア紹介」ひかり文庫点訳研究会の記事内容に多々誤りがありました。特に「ボランティアさんは裏側からの点字でないと読めない」という文は明らかな誤りです。点訳研究会会員の皆様は、点字を眼で読み、表側の凸面、裏側の凹面の両面から読むことができ、どちら側で読むかは個人により異なるということです。又、記事内容の一部に不適切な表現があり、関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたします。

前号の補足記事として「ひかり文庫点訳研究会」の活動・点訳の進め方を改めて紹介いたします。現在、会員数は約45名、原則として毎週火曜日午前10時～午後3時迄、豊島区立中央図書館内の会議室で活動しています。ひかり文庫からの点訳依頼(蔵書)と、ひかり文庫を通した個人依頼の二種類ありますが、一冊の本を数人で分けて担当するので、

統一のとれた点訳をするためには、毎週の打ち合わせは欠かせません。

本が届いたら、何人が担当を決め、その中からチーム(まとめ役)を決めます。チームは本全体を読みレイアウトを考え、何巻になるか予想するために少し打ってみた後、各々に分担します。各自は、不明な漢字の読み、特に地名や固有名詞は必ず調べて確認し、話し合い、本の中で統一を図ります。点訳は各自、自宅で行い、自己校正の後、点訳者間で相互校正、続いて点訳者以外の会員による第一校正をし、最終校正として、点字指導員による触読校正を行います。1巻の点字本は、点字両面でおよそ80枚、原本によりますが、点字本は2～5・6巻になります。一冊の活字本が点字本として完成するまで早くて、2、3ヶ月 長いものは半年以上かかるものもあります。点訳は時間と根気のいる地道な作業ですが、皆で協力して本が出来上がった時はとても嬉しく達成感があります。とお聞きしました。

「時代を変える 図書館サミット」開催記念 作文コンクール表彰式を行いました。

12月13日(土)にあつるすぽっと会議室で小学生の部、中学生の部、高校生以上の部の優秀作品の表彰をしました。受賞者は、次のとおりです

小学生の部「あつらいいなこんな図書館」

- 【最優秀賞】 丸目 容子さん 豊島区立南有小学校一年
- 【優秀賞】 富澤 明佳さん 豊島区立立白小学校五年
- 【佳作】 櫻井 華子さん 豊島区立駒込小学校六年
- 甲斐 純玲さん 豊島区立清和小学校一年
- 大野 理瑠さん 豊島区立南有小学校一年
- 菅原 雲花さん 豊島区立池袋第二小学校六年
- 工藤 楓太さん 東京学芸大学附属世田谷小学校三年
- 新村 公香さん お茶の水女子大学附属小学校六年

中学生の部「夢の図書館」

- 【最優秀賞】 菊地 敬仁さん 豊島区立駒込中学校一年
- 【優秀賞】 上野 杏奈さん 城西大学附属城西中学校三年
- 【佳作】 岡 ひとみさん 豊島区立巣鴨北中学校三年
- 池田 彬さん 豊島区立西池袋中学校二年
- 本橋 可奈子さん 豊島区立千川中学校一年
- 東 美佑さん 豊島岡女子学園中学校二年
- 北野 綾香さん 豊島岡女子学園中学校二年
- 熊坂 唯さん 城西大学附属城西中学校一年

高校生以上の部「図書館に期待すること」

- 【最優秀賞】 浅利 浩さん 豊島区在住
- 【優秀賞】 府川 智行さん 早稲田大学大隈記念大学院
- 【佳作】 川崎 隆太郎さん 巣鴨学園高等学校一年
- 大平 拓さん 立教池袋高等学校二年
- 野津 万里香さん 練馬区在住
- 丸茂 佳子さん 横浜市在住



区内6大学図書館の紹介「学習院大学」編

弘化4年(1847年)京都で開講の後、明治10年(1877年)にあらためて神田錦町で開業し131年、その後目白の地に移転して、ちょうど100年を迎えた学習院大学は、豊かな緑に包まれたキャンパスが特徴です。現在、法学部、経済学部がそれぞれ2学科、文学部7学科及び理学部3学科(来年度より4学科)並びに専門職大学院と大学院があります。多くの学生、研究者の学業と研究を支えている大学図書館には、長い歴史を物語る貴重な資料があります。

特色

- 大学図書館は、日本近代建築の巨匠 前川國男氏の設計により建築され、昭和39年にオープンしました。
- 明治以前からの貴重な和漢古書や洋書など数多くの貴重資料と特色ある文庫を所蔵しています。

蔵書数と特徴

- 大学図書館は約43万冊、各学部・学科の図書室や研究施設を含めると大学全体で約156万冊の蔵書数となっています。
- 研究等に幅広く必要な資料が活用できる、近郊の10大学との相互利用制度があります。



利用方法

- 大学図書館の閲覧利用を希望される方は、豊島区立図書館に利用願を提出し、申請に必要な利用許可願を発行します(一定の利用資格要件があります)。大学図書館の窓口にご利用許可願と身分証を持参し、申請すると利用証が発行してもらえます。

図書館PR

- レファレンスカウンターでは、文学、歴史、美術史を中心とした各分野のレファレンス質問に対応しています。また、「学習院」の歴史研究においても大いに役立っています。
- 学生を対象とした図書館セミナー、情報リテラシーセミナーを企画し、好評を得ています。

学習院大学図書館

- 住所: 豊島区目白1-5-1
- 電話番号: 03-3986-0221 (代表)
- URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/>
- 交通案内: JR 山手線「目白駅」徒歩30秒



正門



戦国時代の砲術家、伊賀守直家の「稲富流(いなとみりゅう)砲術伝授書」(慶長12年、慶長15年)伝書に描かれた数多くの射撃姿勢図は、色彩豊かに、打ち方の要領を明確に示すため「ふんどし」ひとつの裸姿で描かれている。



大学図書館正面入口 地上3階の建物

豊島区伝統工芸

豊島区伝統工芸保存会会員の皆様をご紹介します。

お店探訪 ~株式会社 マスミ~

代表取締役 横尾 靖さん

「日本文化を守る」

株式会社マスミは昭和43年より折戸通り沿い文京高校の斜め向かいの信号の角に襦、表装材、和紙、西陣裂地などの卸・小売りの店として開業。創業はその20年前に店の30畳奥に襦の製造工場を構え東京、和歌山、茨城の3箇所での襦の製造をして一時は全国でトップの襦の生産量を誇っていました。しかし生活様式が日本間から洋間へと移り変わり襦の需要も年々減少したため、和のインテリアや掛軸、屏風など表装を中心とした伝統文化を発信する会社へと移行してきました。

2001年秋に店舗をリニューアルし1階を和紙、裂地などの材料に加え掛軸、屏風、額など作家の作品、和紙灯りや陶芸作品などの展示販売を、2階にはギャラリー・マスミを開設し展示会や演奏会などを企画。奥の工場跡には表装の道場を設け一般の人や作家等に掛軸、屏風作りの表装教室をはじめ書、南画、和綴じ、陶芸、篠笛、鼓、舞踊の教室も行う予定です。

2006年には漆を熟成させていた室(むろ)を改装し、多目的ホール「スペース・MURO」を開設。舞踊、落語から邦楽コンサートなど幅広く伝統芸能を紹介しています。

大英博物館、ボストン美術館など海外の美術館からも手漉き和紙や桐箱、修復材料などを購入するため訪問されたリフランスやドイツからも教室に参加する人が来られます。古き良き伝統文化を継承しながら現代に通用するものを皆さんで体験し追及して行きたいと思っています。マスミが日本文化発信基地となれば幸いです。



大英博物館、ボストン美術館など海外の美術館からも手漉き和紙や桐箱、修復材料などを購入するため訪問されたリフランスやドイツからも教室に参加する人が来られます。古き良き伝統文化を継承しながら現代に通用するものを皆さんで体験し追及して行きたいと思っています。マスミが日本文化発信基地となれば幸いです。

◆ 友好の架け橋として

駒込駅から染井吉野桜記念公園を抜けて500mほど歩いた住宅地に建つマンションの5階に、江戸風 加藤秀吉さんの自宅兼工房がある。

加藤さんは、化粧品製造会社に勤めながら、40代後半に青森県弘前市の津軽武者絵風の第一人者である中野政三氏に師事し、のちに江戸武者絵風の橋本袖造氏の画風に影響を受けて、32年間、江戸風を描き続けている。

江戸風は、武者絵風、歌舞伎風、奴風などがあるが、加藤さんは源平合戦や戦国時代の武将をモチーフとした武者絵の勇ましさや繊細さに惹かれ、作品の半数は、江戸武者絵風である。

材料である岐阜県的美濃和紙または西の内という高級和紙に下絵を写し、墨と染料(赤、黄、青、紫、緑)の色を毛筆と刷毛を使って、色の薄い順に塗り、最後に墨で線をほっきり書き上げる。竹ひごで作った骨を組み、風糸で糸目を結び上げる。加藤さんの作品の特徴は、金粉と銀粉に膠の水溶液を混ぜ合わせたものを甲冑(よろい)、刀剣に銀を塗り画く。また、鎧(よろい)の兜の研究を重ねて、より写実的な画風に仕上がっている。

平成16年に、豊島区と山形県遊佐町との友好都市協定締結記念品の製作、平成19年には、防災サミット記念品の製作など、豊島区と友好都市の架け橋として貢献している。また、製作活動のほか、区立施設で開催する伝統工芸教室や区立小学校の総合学習授業実技指導を行っている小学生たちの姿があったが、微笑ましく、心温まる写真であった。

※脚とは、動物の皮や骨などから作られ、接着剤などに使うもの。

※甲冑とは、昔の武士が戦いときに身につけた武器。



江戸風 加藤 秀吉さん



今回の取材の際に見せていただいた伝統工芸展での写真の1コマに、実演する加藤さんの技を真剣な眼差しで見ている小学生たちの姿があったが、微笑ましく、心温まる写真であった。

※脚とは、動物の皮や骨などから作られ、接着剤などに使うもの。

※甲冑とは、昔の武士が戦いときに身につけた武器。

明治女学校百年

伊藤 榮洪

梁井靈園に眠る巖本善治、若松駿子のお墓



個性を育てた明治女学校

「エジュケーション(教育)と申すは、引出す、開発するなどの意なり」

第2代の明治女学校の校長の巖本善治は、学生らを前にこう述べ、さらに、「盆栽のような好みに合わせた人を育てるのではなく、その人自身の資質を实らせ、大樹として育てるのだ」と、学校の教育の姿勢を説明している。「[目下の教育法] この学校の姿勢が、「女性を正しく見てくれるところ」(相馬黒光)として、多くの「アンビシャス」な女性を魅きつけたのだった。この学校の言う「女学」は女子教育の謂となったほどで、それが300名を越す学生数となったものだった。ところが、帝国議会の発足、帝国憲法の発布とナショナリズムが高揚するに伴って、キリスト教の学校への強烈な向かい風が吹くようになる。「[在来の] 女子教育の方向に関心が移り、学生数は激減する。100名ぐらいいった明治30年2月、麹町の校舎が隣家からの火災で焼失するという災難が起こってしまった。

校舎の再建は急務だったが、学生数の減少期と重なって、巖本の苦勞は大変なものだったろう。三井高保らの三井系企業や、卒業生らの義援金は集ったものの、麹町での再建は難しくなった。無償での土地の提供を求めなくてはならなかった。創立者の木村熊二の二歳年上

の桜井勉(内務省の役人で、氣象予報を形成した)の持つ、巢鴨庚申塚の地に学校が移転したのは、開校して12年目の秋だった。この時期からの明治女学校は、「後期」とされ、黒光は前期に比べ「衰退」の時期だという。「女学雑誌」もやがて廃刊に追いこまれ善治は校長を退くことになるから、その指摘はそのとおりだろうが、善治の回想では、むしろ「注目度が減った分、落ち着いた教育活動ができた」と言っている。後期の「大樹」となる卒業生は小手川ヤエ(野上弥生子)であろう。社会的にも足尾銅毒事件に重大な関心を持って行動しており、明治女学校の理想は燦然たる輝きを失っていない。

明治女学校の移ってきた巢鴨庚申塚の地は、現在の西薬町2-30-19、特別養護老人ホーム「菊かおる園」のある一帯で、土地の人が板橋街道(旧中山道)というそこから入った鬱蒼たる樹々に囲まれたところだった。大分県育ちのヤエさ「田舎」と思ったところだったが、創立時の思いを燃やしつつ、明治41年12月に遂に閉校してしまっ。短かすぎる23年間だっただけに、いいかえれば「明治の青春」らしい一時期をたしかに形成したのである。

中央図書館 特別講演会

平成21年2月15日(日) 午後3時~5時
会場「あうるすぽっと」会議室B

募集100名 参加費1,000円

講演会の受講を希望される方は、右下の申し込み方法をご覧ください。

第一部 講演 「池袋から堪忍袋まで」

一ぼくの日本語ぼこりぼこり漂流記

講師 アーサー・ビナード

第二部 アーサー・ビナード氏による詩の朗読

詩人

アーサー・ビナード氏

プロフィール

米国コルゲート大学で英米文学を学び、日本語にも興味を抱き、1990年来日。当時、池袋に住み、池袋マンハッタンズの代表的な芸術家 小原秀雄の童話に出会い英訳にとりかかる。同時に日本語での詩作を始める。2001年、詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞、2005年、『日本語ぼこりぼこり』(小学館)で講談社エッセイ賞、2007年、『ここが家だーベンチャーの第五福竜丸』(集英社)で日本絵本賞、2008年には『左右の安全』(集英社)で山本健吉文学賞を受賞。



*特別講演会には、手話通訳がつかます。

図書館イベント情報

- 各図書館の連絡先
- 駒込図書館 3940-5751
- 上池袋図書館 3940-1779
- 目白図書館 3950-7121
- 中央図書館 3983-7861
- 巢鴨図書館 3910-3608
- 池袋図書館 3985-7981
- 千早図書館 3955-8361

◆児童・あかちゃんおはなし会 毎週、おはなし会を開催し本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント	
	幼児・小学生	あかちゃん	1月	2月
中央図書館 児童コーナー	日曜日 午後2時	最終日曜日 午前11時	★11日・おはなしこうさく会 午後2時 ★18日・アーサー・ビナードさんのえいごおはなしかい 午後2時 ★25日・虹のポケットによるおはなし会 午後2時	★1日・おはなしこうさく会 午後2時 ★22日・NPO劇団ママス☆カカスによるおはなし会 午後2時
駒込図書館 (駒込地域文化創造館)	土曜日 午後3時	—	—	—
巢鴨図書館 地下会議室	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時	★7日・ほんのじかん カルタ大会 午後3時 ★21日・ほんのじかん 工作(節分) 午後3時 ★28日・すかもこどもえいがかい 午後3時 「福は内 鬼は外」(11分) 「青い鳥」(12分)	★18日・ほんのじかん 工作(おひなさま) 午後3時 ★25日・ほんのじかん スライド 午後3時
上池袋図書館 おはなしのへや (※は地下ホール)	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時※	★7日・さくらんぼ カルタ大会 午後3時(※) ★28日・さくらんぼえいがかい 午後3時(※) 「ゆきちゃんのこんにはは」(19分) 「ミッキーマウスのおたんじょう日パーティー」(9分)	—
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 午後2時	—	★10日・たんぼほカルタかい 午後2時 ★24日・たんぼほえいがかい 午後2時 「雪渡り」(23分)	★28日・たんぼほえいがかい 午後2時 「鬼から」(27分)
目白図書館 地下区民集会室	水曜日 午後3時	第1水曜日 午前11時	★28日・めじろこどもシアター 午後3時 「注文の多い料理店」(19分)	★25日・めじろこどもシアター 午後3時 「力太郎」(20分)
千早図書館 視聴覚室	水曜日 午後3時30分	水曜日 午前10時30分	—	—

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

千早図書館イベント企画 申込不要。当日、千早図書館へ直接お越しください。※当日先着50名、参加費無料

◆千早進歩自由夢

日時 平成21年1月17日(土) 午前10時~午後0時30分
会場 千早図書館 2階視聴覚室
主催 千早図書館友の会
《講演》「それぞれの世界」
講師 歌人・詩人 楠木しげお氏

『若山牧水ものがたり』の著者、楠木しげお氏をお迎えてサトウハチローに師事していた頃の思い出や、若山旅人氏(牧水長男)との出会い等々を話していただきます。

《朗読》 はなしのぶの会
1部 「サトウハチローものがたり」
2部 「若山牧水ものがたり」より

◆第2回「横山光輝アニメ映画上映会」

日時 2月22日(日) 午前10時~正午
会場 千早図書館 2階視聴覚室
映画会 アニメ「三国志」上映

漫画家・横山光輝の晩年の代表作であるアニメ「三国志」の上映を行います。
子供から大人、お年寄りの方々まで、ふるってご参加ください。

申し込み方法

- ※申し込み方法は2種類です。
- ※ひとつの行事に重複して応募された場合、2枚目以降は無効です。
- ※応募者多数の場合は抽選となりますので予めご了承ください。
- ※いずれも申込期限後1週間程度で当落の通知をします。

1 復返はがきに①~⑤を記入し下記送付先へお送りください。(はがき1枚につき1件の申込みでお願いします。)

- ①講演名「2/15講演会」②郵便番号 ③住所
- ④氏名(ふりがな) ⑤電話番号

◆申込期限:1月30日(金) 消印有効

◆送付先:〒170-8442 豊島区東池袋4-5-2

ライズアリーナビル5階 中央図書館 企画調整グループ

2 電子申請でも受け付けます。

豊島区ホームページアドレス <http://www.city.toshima.tokyo.jp/>

図書館カレンダー

○は土日祝	■は休館日	中央図書館	駒込・巢鴨・上池袋・池袋・目白・千早図書館	雑司が谷図書貸出コーナー
開館時間	開館時間	平日 午前10時~午後10時 土日祝 午前10時~午後6時	平日 午前9時~午後7時 土日祝 午前9時~午後5時	平日 午前10時~午後7時 土日祝 午前10時~午後5時
1月	1月	日 月 火 水 木 金 土 ④ 5 6 7 8 9 ⑩ ⑪ ⑫ 13 14 15 16 ⑬ ⑭ ⑮ 20 21 22 ⑯ ⑰ ⑱ 24 25 26 27 28 ⑳	日 月 火 水 木 金 土 ④ 5 6 7 8 9 ⑩ ⑪ ⑫ 13 14 15 16 ⑬ ⑭ ⑮ 20 21 22 ⑯ ⑰ ⑱ 24 25 26 27 28 ⑳	日 月 火 水 木 金 土 ④ 5 6 7 8 9 ⑩ ⑪ ⑫ 13 14 15 16 ⑬ ⑭ ⑮ 20 21 22 ⑯ ⑰ ⑱ 24 25 26 27 28 ⑳
2月	2月	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 ⑪ 12 13 ⑬ ⑮ 16 17 18 19 20 ⑰ ⑱ 22 23 24 25 26 ⑲ 28	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 ⑪ 12 13 ⑬ ⑮ 16 17 18 19 20 ⑰ ⑱ 22 23 24 25 26 ⑲ 28	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 ⑪ 12 13 ⑬ ⑮ 16 17 18 19 20 ⑰ ⑱ 22 23 24 25 26 ⑲ 28

編集後記
3頁のお店探訪で協力いただいた㈱マスマンで、組み立て式の茶室屏風を見せたい。下地骨組に秋田杉、壁の上貼りや紙に越中悠久紙を使ってお、手軽に運べるため、床が平らであれば組み立て時間10分、どこでも畳3畳の広さの本格的な茶室ができるという。和紙の良い匂いする空間にすっかり酔いしれてしまった。(光)